



花き生産情報第3号（要約版）

令和元年6月20日発表
青森県「攻めの農林水産業」推進本部

換気や遮光をこまめに行うなど、施設内の温湿度管理を徹底しましょう。
病虫害の早期発見・早期防除に努めましょう。

1 夏秋ギク

- (1) 生育状況
 - ・生育は順調である。病虫害の発生は、ほとんど見られない。
- (2) 今後の作業
 - ・わき芽は小さいうちにかき取る。
 - ・施設栽培では、花首の伸長を抑えるため、ビーニン顆粒水溶剤等の適期散布で品質の向上に努める。
 - ・白さび病等の発生防止と、アザミウマ類等の早期発見・早期防除に努める。

2 秋ギク

- (1) 今後の作業
 - ・10月出荷の作型は、6月下旬までに定植する。
 - ・定植後は、軽くかん水して活着を早め、摘心を実施する場合は、苗が活着してから行う。

3 トルコギキョウ

- (1) 生育状況
 - ・生育は順調である。病虫害の発生は、ほとんど見られない。
- (2) 今後の作業
 - ・発らいまでは乾燥させないように適宜かん水し、発らい後はしおれない程度にかん水を減らす。
 - ・日中25℃以下、夜間15℃を目標に温度管理をする。

※アップルネット (<http://www.applenet.jp/>) に本文を掲載しています。

◎決め手は土づくり！ 日本一健康な土づくり運動展開中！

◎農薬は適正に使用しましょう。

- 1 農薬の飛散を防止する！
- 2 農薬は使い切り、河川等へ絶対捨てない！
- 3 農薬を使用する場合には、必ず最新の農薬登録内容を確認！

農薬情報 (http://www.maff.go.jp/j/nouyaku/n_info/)

農薬登録情報検索システム (<http://www.acis.famic.go.jp/search/vtllp301.jsp>)

◎農業保険（農業共済及び収入保険）への加入について

自分にあったセーフティネットに加入し、農業経営に万全の備えをしましょう。

- 1 農業共済
「農業共済」は、自然災害等により農作物・家畜・園芸施設に損害が生じた場合に補償される制度です。
- 2 農業経営収入保険
今年から始まった「農業経営収入保険」は、自然災害に加え、農産物の価格低下などにより販売収入が減少した場合に補償される制度です。加入には、青色申告の実績が条件となっています。

※詳しくは、お近くの農業共済組合にお問い合わせください。

報道機関用提出資料	
担当課	農産園芸課
担当者	野菜・畑作物振興グループ 総括主幹 大和山真一
電話番号	直通 017-734-9485 内線 5076
報道監	農林水産部 次長（農商工連携推進監） 船水浩人 内線 4967